

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人アソビシロ
役職	地域おこし協力隊
氏名	山本 昇平
着任日	令和 7 年 4 月 1 日

活動月	令和 7 年 6 月（着任 3 ヶ月目）
主な活動	1. 協力隊内対話企画の実施（岩屋公園） 2. ソナレの森ツリーハウス モニタースタート

1. 協力隊内対話企画の実施（岩屋公園）

協力隊メンバー同士で企画した対話イベントを岩屋公園で実施しました。今回のテーマは「恥ずかしい思いをしよう」。一見ユニークなタイトルですが、これはお互いの価値観や考え方を開示し合い、心の内をさらけ出すことで、より深い信頼関係を築くことを目的とした試みです。

当日は、各自がこれまで活動の中で感じた葛藤や、地域おこし協力隊として抱えている悩み・疑問、そして他者に対して感じていた思いなどを自由に語り合いました。時に笑い、時に真剣な眼差しで意見を交わす中で、立場を越えて「人」としての理解を深める貴重な時間となりました。

このような対話の場は、隊員同士の関係性を再構築し、今後の活動連携や地域での役割発揮にも大きく寄与するものと実感しました。今後も定期的にこうした機会を設け、よりよいチームづくりを目指していきます。



2. ソナレの森ツリーハウス モニタースタート

6月より、ソナレの森にて整備を進めてきたツリーハウスのモニター利用を開始しました。初期段階として、協力隊関係者や地域の子ども連れ家族を中心に招待し、設備や動線、安全性、滞在時の快適性などを確認しました。

モニター参加者からは「森の中で非日常を味わえて楽しかった」「木陰が気持ちよく、子どもも飽きずに過ごせた」といったポジティブな声が多数寄せられました。一方で、暑さ対策や虫対策、荷物運搬の導線などについて改善点も見えてきました。

これらのフィードバックをもとに、夏休みに向けた本格稼働に向けて、必要な備品の追加・構造改善・予約導線の整備を進めていきます。また、体験メニューや周辺の自然資源と連携したプログラム展開も今後の検討課題だと感じました。

